

締めくくり総括質疑を行いました

市営住宅・学校施設・市道などの維持補修予算の増額を要望

3月議会、予算決算委員会で、なすまどか議員が質疑を行いました。

年度末の議会には、1年間の様々な事業を通じ、予算が足りなかったもの、余ったものなどについて、予算の減額増額が提案されます。質疑

では、入札によって余った予算について、遅れている市営住宅の修繕や学校施設の補修、市道など生活に密着した道路の整備に活用するよう求めました。

市営住宅の計画修繕の遅れ・教育現場からは多様な要望が

市営住宅については、畳取り換えの積み残しが4594棟、屋上防水改修の積み残しが296棟、風呂釜取り換えの積み残しが640棟と多数の住宅の計画修繕が残されたままになっています。

小中学校からも、校舎内での雨もり、窓枠が歪んで開閉ができない、プール・体育館の老朽化による修繕など多岐にわたる要望が挙げられています。改善されたものは一部にとどまっています。要望書には、「校舎の老朽化が進んでおり、修理に追われ配当予算では足りない状況。施設修理費の増額をぜひお願いします」との切実な声も寄せられています。

市営住宅の計画修繕の状況

	計画周期	積み残し戸数・棟数
畳取替	20年	4594戸
屋上防水改修	15年	296戸
給湯器取替	13年	1290戸
風呂釜取替	10年	640戸

こうした施設への維持修繕予算は、各課からの要望額から減額され、十分な予算が確保されていません。

市民生活に関わる住宅の整備や子どもたちの教育環境の改善に向け、入札残の活用とともに維持改修経費の増額が求められます。



日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市中央区手取本町1-1 議会棟 ホーム：<http://www.jcp-kumamoto.com/>

NO. 840

2013年3月10日

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

公契約条例の制定で労働者の賃金・所得の確保を！

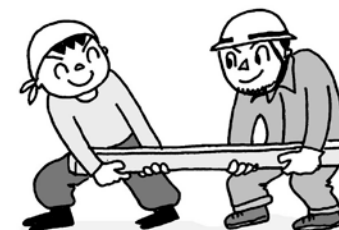
下請けの建設労働者の深刻な実態

公共工事の現場において、現場の労働者から深刻な声が寄せられています。下請け、2次請けとなるにつれ単価がたたかれ、仕事をすればするほど赤字になるような状況も少なくありません。国交省が示している工事費の積算に用いる公共工事設計労務単価を3千円から4千円も下回る賃金で働き、「仕事に使う道具の維持ができない」「働けば働くほど出費の方がかさみ、廃業倒産に追い込まれた」という声も寄せられています。

質疑では、こうした状況を解決するために、公契約条例の制定を求めました。

公契約条例とは？

公契約条例とは、市が発注する工事やサービスなどの契約において、労働者へ一定の賃金を保障することなどを定める条例です。政令市では、川崎市や相模原市で実施されています。



(控室から) 産文会館存続を求める署名

なすまどか

幸山市長は「政令指定都市の顔にふさわしい市街地の再デザインをすすめる」とし、産文会館の解体経費を3月議会に提案しています。こうした市の方針に対して、市民の方から「産業文化会館を残し活用してほしい」との切実な署名が寄せられています。

700席の固定席ホールは、演者と客席にとって最も適切な距離で、市民の文化振興にかけがえのない役割を果たしてきました。

「子どもの頃、保育園の発表会で利用していた施設。もっと大切に使うしてほしい」母親となったその方は、幼少期の思い出を話してくれるとともに署名に協力してくれました。「演者にとって舞台は自らを成長させてくれる大切な場所。存続させてほしい。」と、世界的に有名になった演奏家の方は、自らのライブなどで存続署名に取り組んでおられると聞きました。短期間で多数の署名が産文の存続を求める市民団体に寄せられています。私は、かつて署名の数を「〇〇筆」と数えた際、これは「筆」ではなく、一人ひとりの思いが込められたもので「〇〇人」と数えなければならぬと教えられたことがあります。一つ一つの署名に産文存続の切実な思いが込められています。市長にその思いがしっかりと届くよう、3月議会で引き続き力を尽くしたいと思います。

暮らし・福祉・教育優先、市民の願いに応える予算の執行を！

・・・・・・・・上野みえこ議員が、2012 年度「一般会計補正予算」に反対討論を行いました・・・・・・・・

上野議員は、3 月 4 日の本会議で、補正予算に対する反対討論を行いました。
2012 年度は、政令市移行後の初年度でした。政令市に移行した熊本市が、市民の願いに沿った予算執行となったのか、年度末の補正予算は、その執行状況が問われる補正です。新たな追加や減額の補正に問題点を指摘しました。

市民の暮らしに身近な公共事業の積極的实施を！

入札残は、予定価格と契約金額の差で 46 億円、減額せずに有効活用することは検討課題です。

市道の舗装改良や市営住宅の計画修繕、公園整備やその安全対策など、実施すべきです。

教育分野では、小学校建設費 5 億 8,500 万円が減額補正です。現場か

らは、施設老朽化による切実な要望が多数寄せられています。耐震化推進の一方で凍結されてきた、小中学校の大規模改修やプール・体育館などの建設を実施すべきです。
暮らしに身近な公共事業の実施は、冷え込んだ地域経済の活性化策としても有効です。

生活保護ケースワーカーの増員を

保護費 3 億 8,400 万円が増額補正されました。保護世帯の増加で、一人のケースワーカーの担当世帯数が増えています。適切なケースワークができるよう、一人の持ち世帯が標準数 80 世帯となるよう、正規職員によるケースワーカーの増員を要望しました。

●福祉分野では、敬老祝い品事業の拡充・各種ガン検診無料化を要望。

「奨学金」の効果的な運用を！

奨学金貸付が 1,432 万円の減額補正です。予定人数いっぱい貸付けられたものの、高校生が多かったため執行残がありました。生活困窮世帯は増えています。執行残は、貸付人数を増やすことに使うなど、予算の効果的な運用を求めました。



雇用対策費は積極的に活用を

県の緊急雇用創出事業費補助が、1 億 2,400 万円の減額補正でした。予定していた雇用が緊急雇用の対象外であったり、雇用枠の使い残しなどがありました。雇用状況が厳しい折、使い残しのないよう、雇用対策関連事業の適切な執行を求めました。

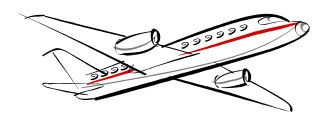
「城彩苑」の利用は低調

熊本城入園者数は 2008 年度をピークに年々減少、今年度 1 月末現在で 126 万人に届いてません。湧々座入場者数も昨年度に比べ 6～7 割に落ち込み、共通入園券の販売が減っています。このような利用状況を見ると、50 億円近くもかかった城彩苑の整備が必要であったのか疑問です。

議員の海外旅行に

市民の理解は得られません

予算になかった台湾訪問・7 名参加に 341 万円の増額。ハイデルベルク市議会友好代表団派遣でも、計画になかったフランスのエクスプロバンス市への訪問が追加となり、7 名参加に約 74 万円増額されました。友好都市他、外国の都市との交流は大切ですが、公費による議員の海外旅行に市民の理解は得られないと、日本共産党市議団は一貫して議員の海外渡航に参加していません。経費削減に努め、代表のみの参加とし、安易な増額補正はやめるべきです。



日本共産党熊本市議団が提案した「意見書」(案)

- ・35 人学級推進など定数改善を求める意見書 (案)
- ・生活保護費削減の中止を求める意見書 (案)
- ・消費税増税を実施しないことを求める意見書 (案)
- ・TPP 参加に反対する意見書 (案)
- ・公務員給与削減押し付けのための地方交付税削減に反対する意見書 (案)

「意見書」とは、
地方議会から、国
への意見や要望を
上げるものです。